

平成27年度

## 自己評価及び外部評価結果

### 【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1493400194	事業の開始年月日	平成21年10月1日
		指定年月日	平成21年10月1日
法人名	株式会社ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター横浜瀬谷		
所在地	(〒246-0015 ) 神奈川県横浜市瀬谷区本郷3-36-5		
18サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成27年10月6日	評価結果 市町村受理日	平成28年3月24日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	<a href="http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wpJDetails.aspx?JGNO=ST1493400194&amp;SVCD=320&amp;THNO=14100">http://www.rakuraku.or.jp/kaigo/w10/wpJDetails.aspx?JGNO=ST1493400194&amp;SVCD=320&amp;THNO=14100</a>
----------	---

### 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<p>入居者、ご家族、職員が地域との関わりをもちながら、それぞれ心地良く過ごせる空間を目指しています。 敷地内に畑があり、ボランティアさんの協力により入居者様と一緒に四季の野菜の成長、収穫、味を楽しむことができます。</p>
--

### 【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	公益社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	神奈川県横浜市中区山下町23番地 日土地山下町ビル9 階		
訪問調査日	平成27年10月27日	評価機関 評価決定日	平成28年2月9日

### 【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p><b>【事業所の概要】</b> この事業所は相鉄線瀬谷駅から徒歩13分の自然環境の良い住宅地にある。2階建ての建物は陽当たりが良く清潔である。間取りは、居間・食堂・キッチン、スタッフルームがユニット玄関近くにあり、職員が見守りやすい配置となっている。共有空間にはテレビやソファが置かれている。居間に接して和室があり、壁面には利用者が作成したペーパークラフトや切り絵、行事の写真などが飾られ季節感を創出している。</p> <p><b>【理念に沿った運営】</b> ホーム理念・ケア理念には、「お客様が笑顔を絶やさず、自分の家として、ゆったり過ごせる家庭的環境をつくる」との思いが込められており、運営に活かしている。利用者の思いを職員が共有し、笑顔で接することを志向している。また、生活リハビリを通じて現存能力の維持に努めている。</p> <p><b>【健康管理と災害対策】</b> 利用者全員が事業所の協力医の往診を受けている。訪問歯科は個別対応である。マッサージを週2回受けている方もいる。また、医療連携体制により24時間オンコール体制があり、看護師が週1回健康管理に訪れている。 消火・避難誘導訓練を年2回実施している。災害備蓄として、飲料水と食品などを3日分備蓄している。</p> <p><b>【地域交流と利用者の暮らしぶり】</b> 自治会に加入し、瀬谷本郷公園の植樹祭に参加したり、老人会に招待されている。「ニチイ祭り」では家族や地域の住民を招き、認知症の相談会を開催している。今年は板前料理やボランティアによる三味線・琴の演奏を予定している。ボランティアの支援により、広い菜園で野菜を栽培し近所におすそわけしている。節分や七夕行事には近隣の小学生を招き、小学校の展示会には利用者の作品を出品し交流している。利用者はレクリエーションを楽しみ、寛いでいる。</p>
--

### 【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ニチイケアセンター横浜瀬谷
ユニット名	あじさい

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3, たまにある 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3, 家族の1/3くらいと 4, ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3, たまに 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3, あまり増えていない 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3, 職員の1/3くらいが 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3, 利用者の1/3くらいが 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3, 家族等の1/3くらいが 4, ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念また企業としての社是、経営理念を事務所に掲示し共有している。朝礼にて周知し実践している。	開設時に作成された「ホーム理念」と「ケア理念」がある。「お客様が笑顔を絶やさず、自分の家として、ゆったり過ごせる家庭的環境をつくる」との思いが込められており、現在も継承し運営に活かしている。6年が経過し、利用者と職員の多くが入れ替わっており、時世に合った分かり易い理念を作るため、職員間で話し合う機会を検討している。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所は自治会に加入している。自治会の清掃、子供会の廃品回収への協力、近隣の小学校の生徒さん達がホームでの行事に参加して下さり、交流している。	自治会に加入し、瀬谷本郷公園の植樹祭に参加したり、老人会に招待されている。ボランティアの支援により、野菜を栽培し近所におすそわけしている。「ニチイ祭り」では家族や地域の住民を招き、認知症の相談会を開いている。今年は板前料理やボランティアによる三味線・琴の演奏を予定している。節分や七夕行事には近隣の小学生を招き、小学校の展示会には利用者の作品を出品し交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の際にGHの状況や認知症についてお話させていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度開催している。GHの状況や今後の運営について報告させていただき、ご意見を伺いご協力頂いている。	運営推進会議は2ヶ月毎に開催し、家族、民生委員兼自治会会長、同副会長、地域包括支援センター職員などが参加している。運営報告や看取り方針の説明、防災、地域交流などを協議している。参加者からは入居希望者やボランティアの紹介などがある。外部評価結果を報告し、玄関に掲示している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議にご参加頂けるよう、お声を掛けさせて頂いているが、予定が合わず取り組めていない。	横浜市には指定更新手続きや事故報告を行い、実地指導を受けている。また、研修案内を職員に周知している。地域包括支援センターには運営推進会議への出席を依頼し、利用者状況を伝えている。瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会では、持ち回りで司会を務め、意見交換している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設け、都度カンファレンスにて身体拘束にあたらぬかチェックを行っている。一年に一度身体拘束対策研修を行うようにしている。しかし、玄関は1日中解錠しているが1階2階ユニット入り口は現在施錠している。外に出たい要望があればいつでも外に出られるように支援している。	身体拘束を行わないことを、運営規程や重要事項説明書に明記し、研修を行っている。主玄関は施錠しない。ユニット玄関は職員の見守りで安全を確保し、夜間のみ施錠している。利用者の不意の外出はないが、外出の希望には職員が付き添っている。瀬谷区のSOSネットワークに加入している方もいる。転倒防止のため、離床センサーマットを利用している方もいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	認知症ケアに関する勉強会を開き、その声掛けや態度が知らずに虐待になっていないか学んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	資格等取得にむけて職員が個々で学んではいるが、他の職員との共有はできていない状況。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約、改定の際には契約書、重要事項説明書に基づいて対面にて説明させていただき、御不安や疑問の残らないよう対応させていただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、家族会にて御意見、御要望を伺っている。またご面会や電話でお話させていただき、御要望や御意見を頂いている。	家族会や運営推進会議で意見を聞いている。また、管理者（ホーム長）が苦情受付窓口になり、法人ではコールセンターを開設している。家族の来訪が多く、要望は直接聞いている。法人が年1回「顧客満足度調査」を行い運営に反映させている。家族には月1回、個別の「情報報告書」とユニットごとの「新聞」で行事報告などを行っている。来訪が少ない家族には「アンケート」を同封している。	今回の外部評価の「利用者家族等アンケート」から得られた要望等についても、運営に反映されることを期待します。また、来訪の少ない家族にはユニットごとの「新聞」を活用し、きめ細かい状況報告を期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り、全体会議、ユニット会議にて職員の意見や提案を聞き取り反映している。また、職員希望者にはいつでも管理者と個人面談できる機会を設けていることを伝えている。	支店内管理者会議で共通の運営課題を話し合っている。月1回の全体会議とユニット会議、毎日の申し送りで意見・提案を聞き運営に反映している。入職者には管理者が定期的に面談している。職員の「ランクアップ制度」があり、達成度に応じて時給に反映し、モチベーションアップを図っている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談やキャリアアップ、外部研修等の紹介を行い、自己啓発や資格取得、やりがいを持ち勤務できるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の情報提供や社内研修の参加を促している。全体会議にて認知症ケア研修を行い、認知症についての見識を深めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会に所属しており、交流する機会をつくっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを基に生活暦を把握し担当スタッフが主になり関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にアセスメントを行う際に、ご家族から困っていること、不安なことがあるか話を伺い、出来る限り対応できるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントにてご本人、ご家族の話を傾聴し、医療、スタッフ、福祉用具と連携していき必要な支援を見極めていく。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の場である事を踏まえ、それぞれの生活暦、価値観に応じスタッフが入居者同士の関係を築ける様支援している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の生活の中で無理なく協力頂ける範囲を見極め、共に本人を支えて頂ける様、関係を築いていっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族・ご友人が来訪された際はお茶をお出しし、家に遊びに来たように居心地の良い雰囲気を作るように努めています。	知人、友人の来訪があり、居室でお茶の接待をしている。手紙は職員が支援し、利用者の折り紙などを知人に送り、喜んでもらっている。馴染みのコーヒーショップに出かける方には、管理者が同行している。車いすの方と一緒に初詣にも出かけている。家族とともに外食、理美容院に行く方や帰省する方もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションを通し、リビングでお客様それぞれが過ごせるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族サービス利用（契約）が終了の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も御家族が来訪し馴染みの入居者様と歓談頂ける関係継続に努めています。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人の要望を確認し、日頃したいことが出来るように支援しています。意思の疎通が難しい方は表情、仕草などから判断しており、無理強いをしないようにしております。	入居希望者には見学を勧め「入居時相談受付票」に希望などを記入している。アセスメントはセンター方式を利用し、職員間で共有している。居室担当制をとり、個々の要望を把握し、カンファレンスで話し合い介護計画に反映している。意志の疎通が困難な方には、家族に伺ったり、気心の合う職員が意向を把握している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の希望、ご家族から趣味、嗜好を確認し、また、馴染みの物を使用して頂くようにし、できるかぎり家で生活していた時と変わらないようにホームで生活できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人に必要な能力を見極め、それに合わせたレクリエーションを優先して行っております。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の意見を必ず確認し、モニタリングしている。その上で提携医、マッサージ師とも相談を行い、介護計画を作成している。	毎月のカンファレンスで居室担当職員の意見を聞き、計画作成担当者がモニタリングしている。介護計画と関係した支援経過記録を記入している。利用者の状況に変化があったときには、本人・家族と話し合い「健康管理記録」を医師に提示、相談のうえ、「訪問診断記録」を介護計画に反映している。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	お客様別に担当者を設け毎月状況報告書を作成閲覧し、各スタッフがお客様に目が向くようにしており、状況報告書からスタッフ間で意思統一し、介護計画作成に役立てている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	居室で高い所の片付けを行う際に低い台に上がるお客様がいるが、ご本人の習慣なのでスタッフが気付けば付き添い支援し、転倒防止の為にご家族から勧められた体幹運動をレクリエーションで行っている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	隣接した大きな畑を入居者と共に数名の地元ボランティアさんが管理して下さっている又運営推進会議には、近隣の住民も数名参加頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の意向を大切に、必要時には担当医が御家族にインフォームドコンセントを実施している。例えば薬による治療を望まない方には代替となる民間療法を提携医と相談しながら行っている。	利用者全員が事業所の協力医の定期往診（月1回）を受けている。そのほか個別での対応もあり、ほぼ毎日来所している。訪問歯科は個別対応である。皮膚科などの専門医の受診には家族が付添っている。マッサージを週2回受けている方もいる。また、医療連携体制により24時間オンコール体制があり、看護師が週1回健康管理に訪れている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問された際は必ずお客様の現在の状態を伝え、お変わりある方を重点的に診て頂いている。受診時以外にも電話による指示、体調不良時の訪問診断等密接な支援がされている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携医の協力を得、サマリーや日々のバイタル情報などを提供している、又入退院時の医療機関とのカンファレンスも御家族を交え必要時開催している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアの経験はないが、必要に応じ「重度化した場合における対応に係る指針」に沿い、ご家族医療機関と話し合いを行っていく予定です。	「重度化した場合における対応に係わる指針」があり、利用者・家族には入居時に説明している。利用者が重度化した場合は、本人・家族の意向に沿いチームケアによる看取り、または、入院支援を行う方針である。看取りの実践はないが、この5年間に緊急搬送を含め、5件の入院支援を行った。	利用者が高齢化していますので、職員の資質向上に向けて「ターミナルケア研修」を実施し、受け入れ体制を充実させていくことを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	本社のマニュアルに沿い緊急時や利用者の急変時に対応出来るよう定期的に手順の確認を全体会議時に職員に行なっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練その内1回は夜間を想定した訓練を行っている。備蓄も蓄えており、緊急時は町内会の協力を得るように話を通してしている。	8月17日に消火・通報・避難の自主訓練を実施した。職員を利用者に見立て、毛布やシーツにくるみ2階から降ろす訓練を行った。11月24日に消防署立会で夜間想定訓練を実施する予定である。境川に面しており、洪水時の避難先は近隣の中学校だが、まずは利用者を2階に移動させる計画である。自治会長とは、一報すれば駆けつけてくれる関係にある。グループホーム連絡会で互助を協議している。飲料水・食料などの備蓄は、ほぼ3日分あり、法人が「非常食管理台帳」で管理している。	自治会の防災訓練に参加をし、事業所の訓練に地域住民の協力が得られる関係づくりに努めるなど、災害に備え、地域との協力体制を構築することを期待します。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は声掛けを行う際に穏やかな口調になるように抑揚にも気を配っている。排泄介助を行う際は先にご本人様に確認をとってから行っている。	人格の尊重とプライバシーの確保は重要事項説明書や事業所の理念に明記している。あわせて「拒否しない。否定しない。」をコンファレンスで説明している。「メラビアンの方則」から、利用者の表情、しぐさ、服装に注意し、その方の状況を判断するのがプロであると伝えている。年に1回、コンプライアンスと個人情報保護に関するテストが行われている。個人情報に係る重要書類は、スタッフルームの書庫に施錠保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	誕生日など行事の時は何を召し上がりたいかお客様に選んで頂いている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	ご本人が望まないことは無理強いしないようにしています。ただ、レクリエーション、入浴など参加されるように声掛けを様々な工夫しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回美容師が訪問し、カット、カラー、お顔そりを行っている。また、ご本人に嗜好に合わせた服装を心がけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前に嚥下体操を行い、唾液を促進しより美味しく感じられるようにしている。出来る方にはテーブル拭きや下膳、洗い物も行っている。	食材は配食業者から購入し、職員が調理し、個々の食事形態に合わせて提供している。行事食は職員が手作りしたり、出前をとることもある。外食には駅前の喫茶店に出かけることもある。クリスマスを兼ねたニチイ祭りには板前を呼ぶ予定である。茶碗と湯呑は各自のものを使用している。利用者は下膳、テーブル拭きなど出来ることをしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	チェック表を有効に使い食べる量や水分量を把握し、不足分は、一人ひとりの状態や嗜好に応じた飲食を支援している。たんぱく質の足りない方には朝・夕に卵を付けるようにしています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの他に、月4回の訪問歯科での口腔状態のチェックを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お客様の排泄パターンを職員は把握し、時間帯に合わせてトイレへ誘導している。また、表情や仕草から気持ちを読み取り、トイレへ誘導するようにしている。	排泄介助が必要な方が半数おり、排泄チェック表で排泄パターンを把握し、時間を決めてトイレに誘導している。トイレはユニットごとに3ヶ所あり、内1ヶ所は車いす対応である。肘掛、手洗い、ペーパータオルを備えている。入口は大きな文字で表示され、床には車いす自走者のために、矢印がつけられている。トイレと浴室は中扉で接しており、羞恥心に配慮した失禁対応ができる。排便コントロールは医師の指示により、牛乳やヨーグルトで調整している。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方には牛乳など乳製品を提供し、それでも排便の無い方には提携医、訪問看護師の指示を受け服薬支援を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人の希望があれば毎日入れるように支援しています。入浴の拒否がある方も時間帯を変えて声掛けすることで入浴されることもあります。また、菖蒲湯やゆず湯など季節に合わせた入浴も楽しんで頂いております。	週2回入浴しているが、自力で入浴できる方には回数を増やすこともある。寝たままの状態利用できる「ボディーシャワー」がある。状態に応じ、清拭や足浴で対応することもある。浴室、脱衣場にはエアコンが設置されている。入浴を好まない方には、相性の良い職員に変えたり「明日お医者さんが来るから」など声掛けの工夫をしている。同性介助は要望があれば対応する。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お部屋でいつでも休むことができるようにドアは開放しており、寝具も整えてあります。身体の状況に合わせて昼寝の時間も用意しております。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報表を作り、いつでもスタッフが確認できるようにしている。服薬支援を行う際は必ず職員2人でチェックを行いミスを防ぐように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	洗濯物たたみなどの日常生活上の家事を行って頂いている。身体の状況によりできない方には、貼り絵などの展示品作りを職員と一緒に頂いている。他に体操、歌唱に力を入れております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は散歩に行けるように支援を行っております。地域のボランティアに協力して頂き、畑の種まきや収穫を手伝って頂いております。	天気の良い日には近くの公園や神社、境川沿いなどを散歩している。3年前に八景島に行ったことがあるが、最近は遠出ができていない。近隣の花見や喫茶店には個別に出かけている。ホーム内の広い菜園で野菜をつくったり、ウッドデッキで外気浴をしている。雨天にはホーム内で手引き歩行訓練、階段昇降訓練や車いすの自走訓練を行っている。	ホーム周辺での日常的な散歩を実施していますが、家族などの協力を得て、春秋の花見など、遠出の外出行事が充実していくことを期待します。
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは事務所で預かっておりますが、今後は一人ひとりの希望や力に応じて工夫して参りたいと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族が来訪された際にお渡しできるようにお手紙を書くことの支援を行っています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング、廊下にお客様が作成した季節の展示品を飾っている。トイレにはわかりやすいように表示している。適正な室温を保つ為に職員で管理をおこなっている。	居間・食堂・キッチンがユニット玄関近くにあり、職員が見守りやすい配置となっている。居間・食堂は陽当たりが良く清潔で、テレビやソファが置かれている。居間に接して畳スペースがあり、昼寝をされる方がいる。コーヒーマシンが置かれている。壁面には利用者が作成したペーパークラフトや切り絵、行事の写真などを飾り季節感を創出している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	普段はお客様が好きなところで過ごせるように支援しております。テレビを観たいお客様は近くまで誘導し、昼寝をしたいお客様は居室まで誘導しています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や思い出の品など居室にはできるだけ馴染みの物を配置して頂いています。他に足りないものや欲しいものはご家族と相談し、取り入れるようにしています。	居室にはエアコン、換気扇、照明器具、カーテン、クローゼットが備え付けられている。自宅から使い慣れたベッド、テーブル、イス、テレビ、冷蔵庫、整理タンス、家族の写真などを持ち込んでいる。これまでの生活習慣を活かし、畳を持ち込み、布団を敷いている方もいる。下肢の不安定な方は、ベッド脇にセンサーマットを置いている。室内は整理整頓され清潔である。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒の無いように居室内の環境整備に努めています。しかしそれは行動を制限するのではなく支援できるように工夫しています。		

事業所名	ニチイケアセンター横浜瀬谷
ユニット名	ひまわり

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	事業所の理念また企業としての社是、経営理念を事務所に掲示し共有している。朝礼にて周知し実践している。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	事業所は自治会に加入している。自治会の清掃、子供会の廃品回収への協力、近隣の小学校の生徒さん達がホームでの行事に参加して下さり、交流している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議の際にGHの状況や認知症についてお話させていただいている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1度開催している。GHの状況や今後の運営について報告させていただき、ご意見を伺いご協力頂いている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議にご参加頂けるよう、お声を掛けさせて頂いているが、予定が合わず取り組めていない。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束廃止委員会を設け、都度カンファレンスにて身体拘束にあたらぬかチェックを行っている。一年に一度身体拘束対策研修を行うようにしている。しかし、玄関は1日中解錠しているが1階2階ユニット入り口は現在施錠している。外に出たい要望があればいつでも外に出られるように支援している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている	認知症ケアに関する勉強会を開き、その声掛けや態度が知らずに虐待になっていないか学んでいる。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	資格等取得にむけて職員が個々で学んでいるが、他の職員との共有はできていない状況。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約、解約、改定の際には契約書、重要事項説明書に基づいて対面にて説明させていただき、御不安や疑問の残らないよう対応させていただいている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	運営推進会議、家族会にて御意見、御要望を伺っている。またご面会や電話でお話させていただき、御要望や御意見を頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	申し送り、全体会議、ユニット会議にて職員の意見や提案を聞き取り反映している。また、職員希望者にはいつでも管理者と個人面談できる機会を設けてあることを伝えている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	個人面談やキャリアアップ、外部研修等の紹介を行い、自己啓発や資格取得、やりがいを持ち勤務できるよう努めている。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修の情報提供や社内研修の参加を促している。全体会議にて認知症ケア研修を行い、認知症についての見識を深めている。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	瀬谷区地域密着型サービス事業所連絡会に所属しており、交流する機会をつくっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	アセスメントを基に生活暦を把握し担当スタッフが主になり関係づくりに努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	入居前にアセスメントを行う際に、ご家族から困っていること、不安なことがあるか話を伺い、出来る限り対応できるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	アセスメントにてご本人、ご家族の話を傾聴し、医療、スタッフ、福祉用具と連携していき必要な支援を見極めていく。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	生活の場である事を踏まえ、それぞれの生活暦、価値観に応じスタッフが入居者同士の関係を築ける様支援している。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご家族の生活の中で無理なく協力頂ける範囲を見極め、共に本人を支えて頂ける様、関係を築いていっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。	ご家族・ご友人が来訪された際にはお茶をお出しし、家に遊びに来たように居心地の良い雰囲気を作るように努めています。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	レクリエーションを通し、リビングでお客様それぞれが過ごせるように支援しています。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族サービス利用（契約）が終了の経過をフォローし、相談や支援に努めている	サービス終了後も御家族が来訪し馴染みの入居者様と歓談頂ける関係継続に努めています。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	帰宅願望のあるお客様や不安のある方はこちらから傾聴を行い、意向を聴きだすようにしている。困難な場合は出来るだけ意向に沿えるようにしています。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人の希望、ご家族から趣味、嗜好を確認し、また、馴染みの物を使用して頂くようにし、できるかぎり家で生活していた時と変わらないようにホームで生活できるように努めています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご本人に必要な能力を見極め、それに合わせたレクレーションを優先して行っております。歌唱レクが苦手な方には貼り絵などを行ってます。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	ご本人、ご家族の意見を必ず確認し、モニタリングしている。その上で提携医、マッサージ師とも相談を行い、介護計画を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	お客様別に担当者を設け毎月状況報告書を作成閲覧し、各スタッフがお客様に目が向くようにしており、状況報告書からスタッフ間で意思統一し、介護計画作成に役立てている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お客様が不安な気持ちになられた時は、散歩に出掛けたり、喫茶店まで職員と一緒にコーヒーを楽しむなどして支援しております。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	隣接した大きな畑を入居者と共に数名の地元ボランティアさんが管理して下さっている又運営推進会議には、近隣の住民も数名参加頂いている。		
30	11	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人及び家族等の意向を大切に、必要時には担当医が御家族にインフォームドコンセントを実施している。例えば薬による治療を望まない方には代替となる民間療法を提携医と相談しながら行っている。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	訪問された際は必ずお客様の現在の状態を伝え、お変わりある方を重点的に診て頂いている。受診時以外にも電話による指示、体調不良時の訪問診断等密接な支援がされている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	提携医の協力を得、サマリーや日々のバイタル情報などを提供している、又入退院時の医療機関とのカンファレンスも御家族を交え必要時開催している。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	ターミナルケアの経験はないが、必要に応じ「重度化した場合における対応に係る指針」に沿い、ご家族医療機関と話し合いを行っていく予定です。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	本社のマニュアルに沿い緊急時や利用者の急変時に対応出来るよう定期的に手順の確認を全体会議時に職員に行なっている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	年2回の避難訓練その内1回は夜間を想定した訓練を行っている。備蓄も蓄えており、緊急時は町内会の協力を得られるように話を通してしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は丁寧な言葉かけを心がけています。否定はせずにできるだけ思いに沿えるような言葉かけを行えるようにしてます。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	欲しい食べ物や品物がないか聴き取りをおこない、ご家族に相談し購入の支援をしています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたか、希望にそって支援している	ご本人が望まないことは無理強いしないようにしています。ただ、レクリエーション、入浴など参加されるように声掛けを様々な工夫しています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	2ヶ月に1回美容師が訪問し、カット、カラー、お顔そりを行っている。また、ご本人に嗜好に合わせた服装を心がけている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事前に嚥下体操を行い、唾液を促進しより美味しく感じられるようにしている。出来る方にはテーブル拭きや下膳、洗い物も行って頂いている。		



自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	1日の水分量をこまめに確認し、不足気味の際は以前の習慣で飲んでいたノンアルコールビールやゼリーなど提供しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の口腔ケアの他に、月4回の訪問歯科での口腔状態のチェックを行っている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	お客様の排泄間隔のデータを取り、データに合わせてトイレへ通うように言葉かけをすることで排泄の失敗を減らすようにしております。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	便秘気味の方には牛乳など乳製品を提供し、それでも排便の無い方には提携医、訪問看護師の指示を受け服薬支援を行っている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	ご本人の希望があれば毎日入れるように支援しています。入浴の拒否がある方も時間帯を変えて声掛けすることで入浴されることもあります。また、菖蒲湯やゆず湯など季節に合わせた入浴も楽しんで頂いております。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	お部屋でいつでも休むことができるようにドアは開放しており、寝具も整えてあります。身体状況に合わせて昼寝の時間も用意しております。		
47		○服薬支援 一人ひとり使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服薬情報表を作り、いつでもスタッフが確認できるようにしている。服薬支援を行う際は必ず職員2人でチェックを行いミスを防ぐように努めている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	ほうき掛けなどの掃除を手伝って頂いている。身体状況によりできない方には、貼り絵などの展示品作りを職員と一緒にやっている。他に体操、工作に力を入れております。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日は散歩に行けるように支援を行っております。帰宅願望のあるかたには瀬谷駅の喫茶店まで職員と外出し、気分転換しております。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	お小遣いは事務所で預かっておりますが、今後は一人ひとりの希望や力に応じて工夫して参りたいと思います。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	電話の取次ぎや電話を掛けたいとの希望があれば職員が支援を行っております。手紙のやり取りの支援も行っております。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	リビング、廊下にお客様が作成した季節の展示品を飾っています。リビングは暖色を使うように工夫しており、暖かい雰囲気を作り出すようにしております。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食事の時などお客様の相性を考慮して席の配置を決めておりますが、普段は自由に思い思いのところで過ごせるように支援しております。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	写真や思い出の品など居室にはできるだけ馴染みの物を配置して頂いています。他に足りないものや欲しいものはご家族と相談し、取り入れるようにしております。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	転倒の無いように居室内の環境整備に努めています。しかしそれは行動を制限するのではなく支援できるように工夫しています。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 ニチイケアセンター横浜瀬谷

作成日 2016年 3月 10日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	利用者の高齢化に備えて重度化したお客様でも対応できる体制作りが必要。	ターミナルケアのおこなえるグループホームを目指す。	管理者、職員ともにターミナルケア研修をおこない、受け入れ体制を充実させる。	1年
2	35	消防訓練に地域の方々が参加できていない。	災害時に地域の方々の協力を得られる体制をつくる。	自治会の防災訓練、催しに参加し、協力することで地域との繋がりを深くしていく。	1年
3	49	遠出の外出行事が行われていない。	春秋の花見など、遠出の外出行事が充実する。	4月上旬に近隣の公園だが、花見を計画している。	1ヶ月
4	10	外部評価アンケートから得られた要望等について運営に反映させる。	施設内の運営や取組みについてご家族に情報が届く仕組みを作る。	ご家族様には月1回の「状況報告書」を2ヶ月に1回の「新聞」を送るようにしている。	達成済
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。